

## 第14回 駿河台大学行政文書管理セミナー開催要綱

主催 駿河台大学文化情報学研究所  
行政文書管理改善機構  
<http://www.admic-akf.jp>

- 1 統一テーマ : 『公文書管理法対応実務の在り方』
- 2 開催日 : 2011 (平成23) 年2月25日 (金)
- 3 会場 : 株式会社ぎょうせい セミナールーム (3F)  
東京都江東区新木場1-18-11
- 4 講演内容 :
  - ・ ご挨拶 13:00 ~ 13:10  
駿河台大学文化情報学研究所 所長・教授 今村 庸一
  - ・ 講演 I 13:10 ~ 14:10  
「地方公共団体の文書管理 ～地方公共団体の職場における能率向上に関する研究会～」  
総務省自治行政局行政経営支援室(併任市町村体制整備課)  
課長補佐 小野寺 晃彦氏  
[解説]  
地方行革の進展に伴い、地方公共団体の職員数が減少している一方、求められる住民サービスは多様化している。職員が資料整理等に忙殺されているケースも少なくない。今後、行政の質を維持しつつ効率的に業務を行うために、知識の共有化など、時代に即した業務能率の向上が求められている。このような趣旨から発足した如上能率向上研究会の動向を踏まえつつ、地方公共団体の文書管理を講じる。
  - ・ 講演 II 14:10 ~ 15:00  
事例報告:「公文書管理法対応実務を実践して ～文書監視委員会の課題と展望～」  
千葉県我孫子市総務課課長補佐  
伊藤 太郎氏  
[解説]  
平成4年度からファイリングシステムを導入し、現在も維持管理を継続している我孫子市の事例を、文書監視委員会の活動に触れながら紹介する。なお、維持管理している文書管理の実務は、公文書管理法対応実務に適合しており、財務省を始めとして多くの行政機関の視察を受けている。

・ 休 憩 15:00 ~ 15:10

・ 講演Ⅲ 15:10 ~ 16:40

「自治体は公文書管理法の実務にどう対応すればよいか  
～慌てるな条例化，実務改善が先～」

駿河台大学大学院客員教授（行政文書管理学会会長）

廣田 傳一郎

[解説]

まず，施行を目前にしている公文書管理法を概説する。次に，同法の実務指針である新・ガイドラインが現行ガイドラインとどこが変わったかを明らかにしつつ，その具体の対応策を詳述する。さらに，これまで ADMiC は宇土市やニセコ町の条例化に関わってきたが，これからの条例化の在り方についても提言を行う。併せて，廣田が深く関わっている文書管理の新国際標準規格についても最新情報を提供する。

・ ご挨拶 16:40 ~ 17:00

「公文書管理法の研修規定にどう対応するか」

行政文書管理アカデミー学長（駿河台大学名誉教授）

原田 三朗

以上